



# 黒の騎士 運命の手

／ 剣 解

BLACK KNIGHT BLACK KNIGHT BLACK KNIGHT BLACK KNIGHT BLACK KNIGHT





黒の騎士 運命の手

剣 解

# CONTENTS

運命の手

5

夢を継ぐ者

105

罪と信義の証人たち

137

あとがき

171

商団といっしょ !! in 山中

172

“Black Knight”

Presented by KAI TSURUGI

# 黒の騎士 運命の手

## 剣解

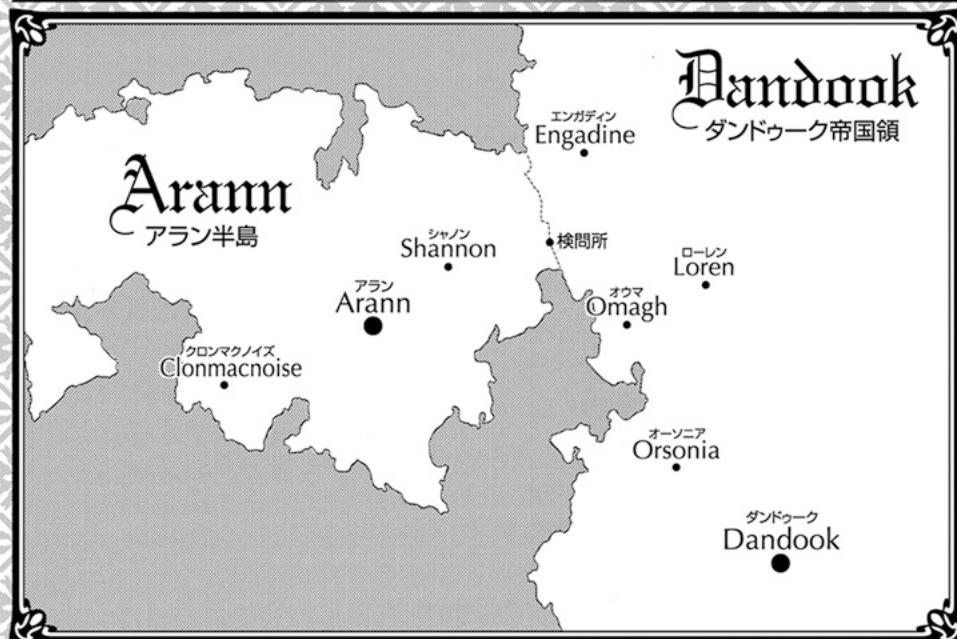
### STORY

アラン国第三皇子・クリスは、身分を隠しての遊学中、シャノンの傭兵学校で学校一の剣の腕を持つジークと出会う。傭兵学校の先輩として、ぶっきらぼうな中にも、クリスに対しさりげない配慮をみせるジーク。親密になっていく二人の関係は、クリスの暗殺未遂事件をきっかけに恋に変わる。その頃、アラン王国ではクリスの父である国王・アランの毒殺未遂事件が起こる。政情が不安になったため、遊学を取りやめ、シャノンから帰国することになったクリスは、ジークと共に、迎えの親衛隊を待って出発することに。途中盗賊団“鷹の爪”的襲撃に遭うも、ブリガドゥーンの商團に救われなんとか無事帰国する。

その後、アラン王の毒殺未遂事件にダンドゥークが関わっていたと判明。もともと因縁のあった二国だったが、そのことをきっかけに長い膠着状態に再び緊張が走る。具体的な打開策の出ぬまま、戦争への道を選ぶしかないので悩むクリスたちだったが、身分を隠し、鷹の爪の一員として落ち延びていたダンドゥークの第二皇子ジェイムズが、アラン王のもとを訪れ、アランとダンドゥークの和平交渉を進言する。二国は和平の為、クリスは人質としてジェイムズと共にダンドゥークへ向けて旅立つ。

シャノンからダンドゥークへ抜ける途中でクリスは再び鷹の爪に襲われ、助けに入ったジークは大怪我を負ってしまう。ジェイムズは鷹の爪の皆に自らの身分を明かし、詰られながらも、クリス誘拐の罪を自分が被ること、鷹の爪に対し、軍には手を出させないことを明約し、クリスたちと共にダンドゥークへの活路を開いた。クリスは、この事件で初めて個人ではどうにもならない事態と、自分の感情を押し殺しても完遂しなければならない使命を知り、自らの置かれた複雑な立場に改めて想いを馳せる。

### MAP



# CHARACTERS



## [ジーク]

19歳。育ての親の祖母死亡後は天涯孤独。剣に秀で、シャノン王から「黒の騎士」の称号を継いで欲しいと望まれている。クリス直属の騎士で、恋人でもある。主君を守るべき立場ながらクリスに恋してしまったが故に自分の立場に悩む。冗談の通じ難いタイプだが、皆から慕われる人望の持ち主でもある。



## [クリス]

16歳。アラン国第三王子。穎やかで明るく素直な性格。アラン国王家の末っ子であり、家族、臣下、領民の皆から愛されて育つ。身分を隠して入学したシャノン国の傭兵訓練所でジークと出会う。王族として生まれ育った自分に与えられた使命とは何であるのか常に考える、育ちの割りに生真面目な王子。



## [ダグラス]

現アラン国國務大臣。  
常にアラン王を守る。  
元・銀(しろがね)の騎士。



## [リチャード]

現シャノン国王。  
元はアミアンの傭兵団長。  
現・黒の騎士。



## [ジェイムズ]

ダンドゥーク帝国第二皇子。アラン王の甥。帝国下にあるオーソニア公国を統治。権力に固執する兄に追われ、部下のウィリアム・レオと共に国外へ逃亡。反ダンドゥーク組織・鷹の爪に身を隠す。帝国に対して複雑な感情を持つ。

## [ブリガドゥーン]

どの国にも属さない大規模商団の長。大商団を率いて各地を旅している。アラン王とはアミアン遠征時からの長いつきあい。シャノンからアランへ戻るクリスの危機を救った。



## [親衛隊]

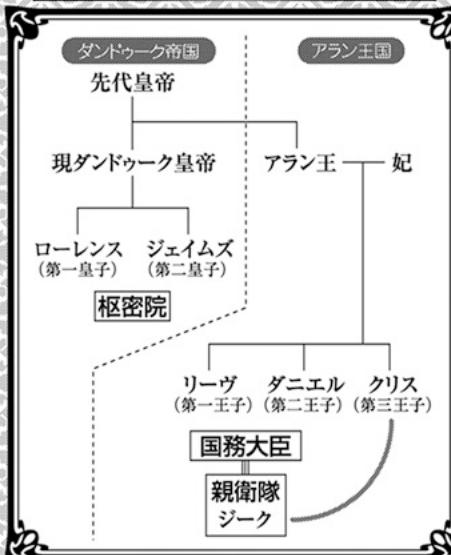
アラン国の親衛隊の中で、クリスに属する騎士団。隊長ステファン以下、精銳六名で構成。クリスのことを命をかけて守る、文字通りクリスのためなら火の中水の中も辞さない集団である。ジークも親衛隊の一員となった。



## [アラン王]

クリスの父。ダンドゥーク帝国第二皇子として生まれる。弟として兄を敬愛していたが、その兄に謀反の疑いをかけられ敵国制圧を名目に追放される。勝ち目のない戦だったが、仲間と共にアミアンを制圧。

## RELATED CHART





# 運命の手

うんめい

で

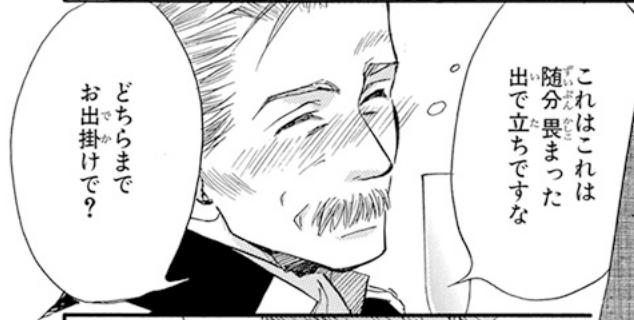
黒の騎士

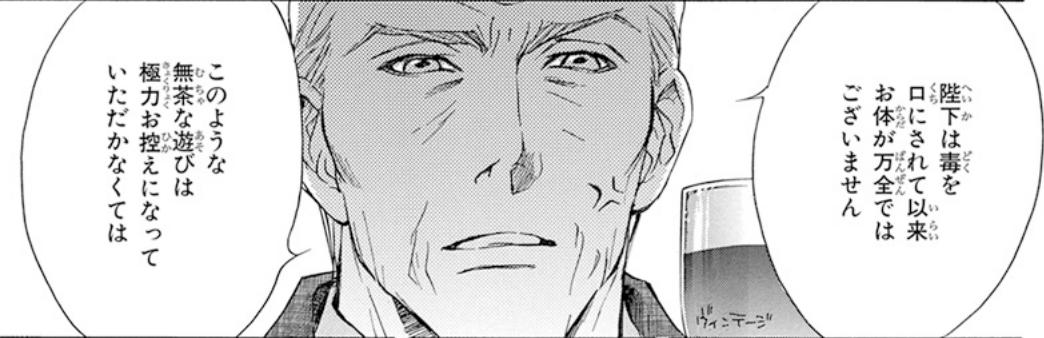


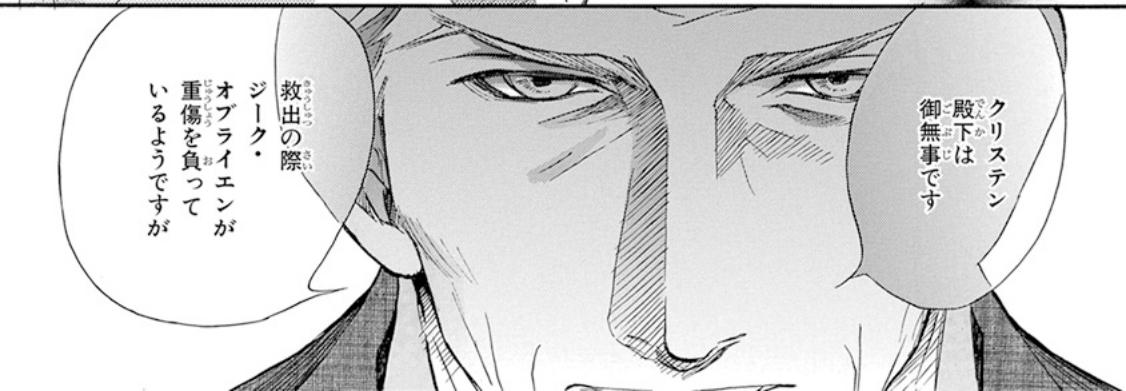
黒の騎士

アラン王国  
おうこく









交渉材料は？

他に負傷者はございません

今回の事件の不問…

組織の存命と引きかえにたかの爪は

両殿下の安全と  
ジェイムズ皇子への  
協力を約束してあります

ブリガドゥーン商団と  
合流した模様です

その後  
検問所に面した  
オウマに南下する  
一行は  
独自の経路で  
国境沿いにある  
エンガディンに入国

リチャード…

良いでしょ  
う不問ですか  
真似はいたしません

エンガディン

シャノン

接問所

オウマ

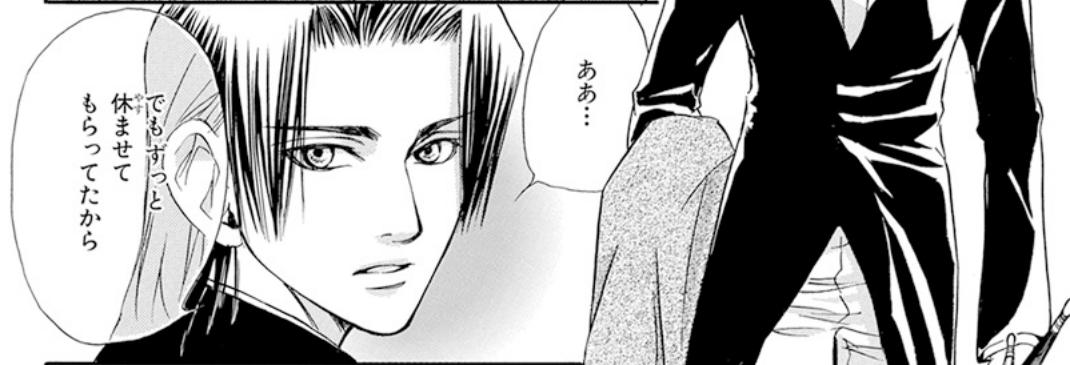
Brigadoon

恐らく今頃は  
オーソニアの  
国境付近に  
差しかかっているかと…

オーソニアか

私の公國  
だつた國だ





何言つてんだ  
水臭えな

あやま  
謝ん  
別に迷惑とか  
思つてねーし

それに  
こ一ゆ一時は

すまないじやなくて  
ありがとう!!

ありがとう

だろ!?

なかなかだ  
なかなかだ

殿<sup>ごん</sup>下<sup>か</sup>の身<sup>み</sup>下<sup>さ</sup>の組<sup>ぐみ</sup>織<sup>おり</sup>に  
乗り込<sup>の</sup>むなんて  
カッコイイせ!!

どう  
いたしまして!

殿<sup>ごん</sup>下<sup>か</sup>は…

そういうれば  
検<sup>けん</sup>分<sup>ぶん</sup>がある  
みたいだが  
大丈夫<sup>だいじょうぶ</sup>なのか?

殿<sup>ごん</sup>下<sup>か</sup>は

…?



